

カーボディマスター科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	1年前期	単 元	学 科	教科名	車体整備理論前期
科 目	法定学科	教科書等 持参品	自動車整備技術 車体整備		発行日
総時限	58		日産車体士テキスト		教科 担当
総時間	92.8		日産塗装士テキスト		
2026年3月31日					
上谷 晃一					
濱村 和樹					

1. 指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として自動車整備全般の実務経験がある教員により自動車の構造・作動について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）
1. 車体整備の目的を理解する。
2. 板金について理解する。
3. 溶接について理解する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）
1. 車体の整備と検査について理解する。
2. 不法改造について理解する。
3. 板金の損傷および板金作業について理解する。
4. 電気抵抗スポット溶接について理解する。
5. ガス・シールド・アーク溶接について理解する。
6. ガス溶接について理解する。
7. 電気式の溶接器を使用する時の注意事項を理解する。
8. 電気アーク溶接および安全衛生について理解する。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
・合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可
・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習
・過去2年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと

6. 学修時間と単位
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。

カーボディマスター科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	1年前期	単元	学科	教科名	車体整備理論前期		
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
1	接合方法				日産車体士テキストP1 2 2～1 2 6		
2	溶接関連機器				P 1 2 7～1 2 8		
3	溶接の種類				P 1 2 9～1 4 3	動画使用	
4	"						
5	部品パネル交換				P 1 4 4～1 6 0		
6	"						
7	ボデーの建付け、機能の検査				P 1 6 1～1 6 2		
8	ガラス				P 1 7～1 9	動画使用	
9	損傷診断				P 1 6 4～1 6 5		
10	力の性質				P 1 6 6～1 6 7		
11	計測				P 1 6 8～1 7 1		
12	"						
13	車体寸法図				P 1 7 2～1 7 5		
14	ボデー修正装置				P 1 7 6～1 7 4		
15	"						
16	固定				P 1 8 5～1 8 8		
17	引き出し作業のポイント				P 1 8 9～1 9 3		
18	"						
19	損傷者の修復例				P 1 9 4～1 9 6		
20	錆と対策				P 1 9 8～1 9 8		
21	"						
22	車体防錆材料				P 2 0 1～2 0 6		
23	"						
24	塗装の目的				日産塗装士テキストP 2～1 2		
25	補修用塗料、下地塗料				P 2 2～2 3		
26	上塗り塗料				P 2 4		
27	スプレーガン				P 3 7～4 6	動画使用	
28	ブラサフの目的と性能				P 8 8～8 9		
29	ブラサフの種類				P 9 0～9 3		
30	ブラサフ塗装				P 9 4～9 9		
31	ブラサフの研磨作業				P 1 0 0～1 0 2		
32	色と光				P 1 2 8～1 3 0		
33	色の三属性、色の表示方法				P 1 3 1～1 3 5		
34	等色条件(メタメリズム)色の判定および色差の確認				P 1 3 6～1 3 9		
35	原色の特性、調色用原色				P 1 4 0～1 5 2		
36	作業環境、調色の手順				P 1 5 4～1 5 8		
37	調色のポイント				P 1 5 9～1 6 6		
38	調色の現場的手法				P 1 6 7～1 6 9		
39	上塗り塗装、手段と目的、塗料調合の基礎				P 1 7 2～1 7 3	動画使用	

40	吹き付け準備	P 1 7 4～1 7 6	
41	塗色別の塗り方	P 1 7 7～1 8 3	
42	3コートパール、カラークリアー塗装	P 1 8 4～1 8 6	
43	内班骨格部位の塗装	P 1 8 7～1 8 8	
44	2トーン/3トーン塗装、全塗装の要領	P 1 8 9～1 9 0	
45	クリアー、ブロック塗装、ボカシ塗装	P 1 9 1～1 9 4	
46	樹脂パーツの塗装	P 1 9 5～1 9 8	
47	乾燥機	P 2 0 0～2 0 2	
48	塗装の乾燥方法	P 2 0 3～2 0 4	
49	乾燥時間と温度、磨き作業	P 2 0 5～2 0 6	
50	磨き作業に影響する要素	P 2 0 7	
51	一般的なコンパウンドの成分とその役割	P 2 0 8～2 1 1	
52	コンパウンドの基本的な使い方	P 2 1 2～2 1 4	動画使用
53	ポリッシャーの役割、バフの役割	P 2 1 5～2 1 6	
54	バフの基本的な使い方	P 2 1 7～2 1 9	
55	深い傷の処理の仕方、磨き作業	P 2 2 0～2 2 2	
56	第1章、総論	車体整備テキスト P 1 7～4 6	
57	第2章、車体の構造と機能	P 4 7～1 2 9	
58	第3章、車体整備(車体整備の目的、板金)	P 1 3 1～1 5 4	

※ 期末試験は授業時間に含まない